

ここで見られる植物：モチツツジ（Big Sepal Azalea; *Rhododendron macrosepalum*）

モチツツジは本州や四国の低山地や丘陵地などで育つ常緑低木です。モチツツジの名は、粘り気が餅に似た、柄と萼のネバネバした表面から来ています。高さはおよそ 60cm から 2m までと大きくばらつくこともあり、枝の先には楕円形または細長い葉が密生しています。4 月から 6 月の間に新芽が出ると、それと同時に葉のわきに淡赤紫色の花が咲きます。花は漏斗状の形をしており、内側の上面には蜜標とよばれる、虫を引き寄せる働きをもつ特徴的な赤い斑点模様があります。